



雨水活用から 洪水対策を 考える

福井豪雨から10年、
いま私たちにできること

参加費
無料

『福井豪雨』から10年、地球温暖化やヒートアイランド現象による豪雨が相次ぎ、各地で洪水が多発しています。このような強い雨に対して、各地で新たな下水道システムや巨大雨水貯留槽等の洪水対策が実施されています。しかしながら、雨を速やかに排除するといった考え方だけでは対応しきれない豪雨も発生しており、様々な施策を効果的に組み合わせる必要が叫ばれています。『雨水活用』という新たな観点から水資源の確保と防災の両立を目指し、いま私たちにできることを考えます。

雨水の貯留・浸透による 洪水防止効果

雨水貯留浸透技術協会 忌部 正博 氏

下水道による雨水の 流出抑制対策と今後の展望

福井市下水道部 前川 孝 氏

ピンポイント 降雨予測を 利用した 都市型洪水 緩和システム



福井工業大学 笠井 利浩・中城 智之

100mm/h 安心住宅「雨水ハウス」 の実践

福岡大学 渡辺 亮一 氏

パネルディスカッション

7月16日 水

14:30~17:20

福井工業大学 2号館 802教室

主催 福井工業大学 後援 福井県

〒910-8505 福井市学園3-6-1

お問合せ 大学事務局 社会連携推進課

☎ 0120-99-7361

FAX. 0776-29-7843

E-mail: shakai-u@fukui-ut.ac.jp



- 福井ライフ・アカデミーと第7回雨水ネットワーク会議全国大会2014 in 福井との連携事業です。
- Eメール、TEL、FAX、郵便、何れも受付します。
- 駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関等をご利用ください。